

佐久地域の現状

令和4年6月 佐久地域振興局

佐久地域の強み

+ α (プラスアルファ) 要素

首都圏との近さ

- ・北陸新幹線で1時間～1.5時間
- ・高速道路により車でのアクセスも容易

地域交通（市町村間交通）の再構築 ／自動車頼みからの脱却

- ・世帯あたりの乗用車保有台数は多い
- ・公共交通は路線廃止や利用者減が進む

医療体制の充実／農村医療の伝統

- ・佐久総合病院をはじめ13病院が存在
- ・医療従事者も多く、医療体制は概ね充実

高齢者数の増加等を見据え、 医療・介護・生活支援の更なる充実

豊かな自然環境／圧倒的な晴天率 ／熱帯夜がない冷涼な気候

- ・年間平均降水量が少なく、日照時間が長い

佐久地域のブランド力向上

- ・民間調査においては、苦戦する自治体も

新しい特徴的な教育の充実

- ・軽井沢風越学園、大日向小・中学校、ISAK JAPAN、森のようちえんぴっぴ...

高校・専門学校・大学の強化

- ・工業系・IT系の学校が他地域に比べ少ない
- ・高校生は上田、山梨県、群馬県に流出

災害（地震・水害）が少ない

- ・災害復旧事業費が少ない
- ・雨が少ない等、気候にも恵まれている

浅間山の火山防災

- ・直近では2019年に小規模噴火が発生
- ・噴火警戒レベルは上げ下げを繰り返す

バランスのとれた産業構造

- ・農林業も製造業も観光も商圏も強い
- ・佐久平駅を中心に生活圏が形成

30年後を見据えた産業施策

- ・持続可能な農林業や製造業中心からの転換が必要ではないか

子育て世代（30～40代）の移住増

- ・移住者数は10圏域で最多
- ・コロナ下において子育て以外の移住も増加

移住者（クリエイティブ人材）の活躍の場 ／地域産業との連携がない



世界的・全国的な環境変化

気候変動

D X (AI・IoT) /
Society 5.0

食料問題

文化芸術活動
／地域の歴史・文化財

人口減少 /
少子化

価値観の変化
(Well Being)

...